



日本共産党市議会議員

# 高野 まもる

おやくそく

- 消費税10%増税ストップを求めます
- 国保税・公共料金の値上げを抑えることを求めます
- 子育て支援の充実・給付型奨学金を求めます
- 農業支援の充実・後継者育成に取り組みます
- 住宅リフォーム助成制度を求めます
- 乗合自動車の運行区域を拡大を求めます
- 仮称・市民交流館は市民1万人意識調査をもとに再検討を求めます
- 東海第2原発の再稼働ストップを求めます

## 議員の態度が問われます

住民の声をとどけ、市政をチェックするのが議員のつとめです。それなのに、国保税の値上げや後期高齢者保険料の負担増の予算にも賛成、その一方で議員報酬は引き上げを要望する議会。これでいいのでしょうか。



## くらしが大変 老後が心配

こんなとき

# 市政と議会

これでいいのでしょうか

## 市民の願いはくらし第一

市民はくらしを守る市政や産業の振興、福祉の充実を望んでいます。自治体の仕事は「住民の安全と健康、福祉の保持」と自治法でも定められています。ところが市と議会は、市民に冷たい政治をすすめています。

## 国保税・後期高齢保険料を値上げ

高野まもる議員だけが反対を主張

3月議会で国保税の1人平均(年額)2,323円の値上げが行われました。75歳以上が加入する後期高齢者保険料も、低所得者が対象の均等割額の9割軽減が8割に引き下げられ、一層の負担増になりました(平成31年度)。

## 財政調整基金(貯金) 56億円

現在、財政調整基金は56億円積み立てられています(平成30年度末)。値上げどころか値下げこそすべきです。

## 東海第2原発 反対請願を不採択



東海第2原発(日本原電)は稼働して40年の老朽原発です。東日本大震災以来、8年間停止しています。県内34市町村議会は、再稼働反対や慎重な対応を求める意見書を可決し、国や県に提出しています。

ところが鉾田市議会は平成29年12月議会で「東海第2原発の運転期間延長に反対する請願」を不採択にしてしまいました。

採択を主張したのは、高野まもる議員のほか2名の議員だけでした。原発ゼロが市民の願いです。

(ほこた市議会だよりNo50に掲載)

## 議員報酬引き上げを議会が市長に要望

高野議員は要望に反対を主張しました

昨年、市議会は議員報酬の引き上げを市長に要望しました。要望を受け報酬審議会が開催され、今年月額3万円を引き上げる答申が市長に出されました。高野まもる議員は「報酬を引き上げると市民の平均所得とくらべ更に格差が広がることから、引き上げの要望には反対である」と主張しました。

